

お祖父様のご悲報に接し痛恨にたえません。心からお悔やみを申し上げます。かねてよりご壮健なお祖父様であらせられ、まさかこのようなことがあるとは想像だにせず、驚き入り茫然とするのみです。

一昨年夏、大崎さんと松山のご実家を訪ね、お祖父様にお会いしたときは、とても卒寿に手が届こうかというお歳とは思えないほど顔の色艶がよく頭脳明晰なお方と拝察し、お父様と見まがえたほどでした。あのお祖父様にもうお会いできないのかと思うと、私も残念です。

大崎さんはもとよりご家族の皆様には、さぞお力落としいことと存じますが、どうかお心を強くお持ちになつてください。

遠方のためご弔問に伺えませんが、心ばかりの御香典を同封させていただきますましたので、ご霊前にお供えいただけば幸甚に存じます。とりあえず略儀ながら書中にてお悔やみまで。